

殯（もがり）の森（2007）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本／フランス
色彩 Color
時間 97分
初公開日 2007/06/23
公開情報 組画

【解説】

「萌の朱雀」「沙羅双樹」の河瀬直美監督がこれまで一貫して撮り続けている地元奈良を舞台に手掛けたヒューマン・ドラマ。互いに家族を亡くしている認知症の老人と女性介護士の触れ合いを通して、人間の生と死を静かな眼差しで綴る。2007年カンヌ国際映画祭にて審査員特別大賞（グランプリ）を受賞。ちなみに殯とは、その語源が“喪(も)上がり”とされ、日本の古代に行なわれていた葬儀儀礼で、敬う人の死を惜しみ偲ぶ時間、またその場所のこと。

奈良県北部の山間地に建つグループホーム。そこでは、軽度の認知症を患った老人たちが介護スタッフと共同生活を送っている。その老人のひとり、しげきは、33年前に亡くした妻との思い出を胸に秘めたまま静かな日々を過ごしていた。そんな中、グループホームに介護福祉士の真千子が新しく赴任する。彼女もまた、我が子を幼くして亡くすという暗く悲しい過去を背負っていた。はじめは思うように打ち解けず、ぎくしゃくしていたしげきと真千子。次第に通じ合っていた2人は、ある日しげきの妻の墓参りへ出掛けることに。そして彼らは、しげきの妻が眠る“殯の森”の中を彷徨っていく…。

【クレジット】

| | | |
|--------|--------------------------|-------|
| 監督 | 河瀬直美 | |
| プロデュース | 河瀬直美 | |
| 製作総指揮 | ヘンガメ・パナヒ Hengameh Panahi | |
| 脚本 | 河瀬直美 | |
| 撮影 | 中野英世 | |
| 美術 | 磯見俊裕 | |
| 音楽 | 茂野雅道 | |
| 照明 | 井村正美 | |
| 録音 | 阿尾茂毅 | |
| 出演 | うだしげき | しげき |
| | 尾野真千子 | 真千子 |
| | 渡辺真起子 | 和歌子 |
| | ますだかなこ | 真子 |
| | 斉藤陽一郎 | 真千子の夫 |